

2012-B					
拠出金・基金の名称:		平和のためのパートナーシップ(PfP)信託基金			
種 別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
拠出先の国際機関名: 北大西洋条約機構(NATO)					
【所管官庁担当局課・室名】: 外務省欧州局政策課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 中央アジア・コーカサス地域、アフガニスタン等においては、小型武器や不発弾、地雷の処理等が問題となっているが、現地の政府には、かかる問題に対処する予算や能力が不足している。そのため、NATOがその軍事的な専門知識を最大限に活用し、軍備管理・軍縮活動を適正な手段で安全かつ確実に実施している。平成24年度はタジキスタンの不発弾処理・武器弾薬管理能力強化プロジェクトに拠出。 我が国は、こうしたNATOの事業の中から我が国にとっても大きな効果が見込まれるものを選定し、信託基金への拠出を通じてNATOに協力している。こうした協力は、国際平和の構築に積極的に貢献するものであるとともに、我が国とNATO及びその加盟国との関係のみならず、中央アジア・コーカサス諸国との関係強化の観点からも重要な取組である。					
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ユーロ)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成24年度	8,092	72.25	-	1ユーロ= 112円	0
平成23年度	10,200	85	-	1ユーロ = 120円	0
平成22年度	10,988	82	-	1ユーロ = 134円	0
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 タジキスタンプロジェクトには我が国の拠出(平成21年度に10万ユーロ、平成24年度に7万2千250ユーロ)も含め、約41万ユーロの拠出が集まり、フィージビリティ・スタディを終え、実施段階まで到達している。当初、資金不足が懸念されていたが、集まった資金により、タジキスタン南部の国境地帯における危険性のある貯蔵武器を廃棄、ないし、必要に応じて移動させるための不発弾処理(EOD)チームを育成すること、また、同地域における武器及び軍備貯蔵に対するタジキスタン政府による管理状況を調査し、右に対する勧告を行うことが可能となる。 タジキスタンはアフガニスタンと国境を接する国であり、麻薬と引き替えに武器弾薬がアフガニスタンへ流出しており、アフガニスタンにおける反政府勢力によりISAF及びアフガニスタン国軍(ANSF)に対する攻撃手段に使用されている。 タジキスタンの武器弾薬管理能力を強化することにより、武器弾薬のタジキスタンからアフガニスタンへの流出を防止し、もって、アフガニスタン及び周辺国における平和構築に資することができる。ISAFが撤退する2014年以降を見据え、アフガニスタンに対する包括的な取組が求められる中、本プロジェクトは周辺国からアフガニスタンの和平を促進することに資する。					